

題材名：

曲想の変化を味わって鑑賞しよう。

『交響曲第5番 ハ短調』

(全2時間扱い中 第1時)

授業日時 令和3年11月5日(金) 第3校時

授業学級 2年B組

授業会場 音楽室

授業者

指導者

(1) ねらい

動機がどのように現れるか注目しながら聴き、動機の繰り返しや変化、楽器の音色に着目することによって、曲想の変化を味わって聴くことができる。

(2) 授業のポイント

- ・場面：動機がどのように現れるのかを聴く。
- ・活動：動機の繰り返しや変化に注目しながら曲想の変化を味わう。

(3) 展開

過程	活動	○授業者の主発問・◇留意点・★教材	時間
導入	1. 『交響曲第5番』の一部を聴き、鑑賞する楽曲を知る。	◇冒頭部分をピアノで弾き、『交響曲第5番 ハ短調』を鑑賞することを伝える。 ○「このジャジャジャジャーンの部分は動機といいます。」	5
	【学習問題】動機はどのように現れるのだろうか？		
	2. 動機がどのように現れるのかに注目して聴く。	○「動機がどのように現れるのか、近くの人と確認し合いながら聴いてみよう。」 ★ICTを用いて動機の現れ方を確認する。	10
	【学習課題】動機の繰り返しや変化、音色に注目しながら曲想の変化を味わおう。		
展開	3. 提示部を聴き、聴き取ったことや感じ取ったことから特徴を捉える。	◇提示部を主題ごとに分けて聴いていく。 ○「聴き取ったことや感じ取ったことをワークシートに記入しよう。」 ★電子黒板に2つの主題の楽譜を提示する。 ◇全体で共有し、2つの主題の特徴を捉える。	15
	4. 『交響曲第5番 ハ短調』の提示部では、どのような曲想の変化があったかを考える。	○「2つの主題を対比してみると、曲想到どの様な変化がありましたか。」 ○「最後に、『交響曲第5番 ハ短調』を聴いてみんなが感じたことを自由に書いてみましょう。」 【評価】動機が現れる場面に注目して鑑賞をし、動機の繰り返しや変化に注目しながら、曲想の変化を味わって聴くことができている。(観察・ワークシート)	15
終末	5. 振り返り	○「本時の学習を通して考えたことや感じたことを振り返り、ワークシートに記入しましょう。」	5